

国際大会での活躍誓う

秦選手(カヌー)、宇井選手(レスリング)ら 知事や教育長を訪問



ジュニア日本代表選手に選ばれたレスリング競技の新宮高2年、宇井大和選手(左)やカヌー競技の田辺工業高3年、秦秀明選手(左から2人目)らが仁坂吉伸知事(右)に活躍を誓う＝県庁で

ジュニア日本代表選手に選ばれた田辺工業高校3年秦秀明選手(カヌー)や新宮高校2年宇井大和選手(レスリング)らが4日、仁坂吉伸知事や西下博通県教育長を訪問し、国際大会での活躍を誓った。

秦選手は17〜20日にハンガリー・セグドの「カヌースプリントジュニア世界選手権大会」に、宇井選手は15〜20日にスロバキア・スニナである「世界カデットレスリング選手権大会」に出場する。

仁坂知事は「頑張りましょう」と力強く声を掛け、西下教育長は「大きな舞台で全力を出すことが自分を成長させる。国体を控えて和歌山県は燃えている。日本代表として、県民に勇気を与えてほしい」と激励した。

秦選手は「初めて世界大会に出る。練習で培ってきたものを自信を持って出し切りたい」。宇井選手も初の世界大会で「力を出し切って、3位入賞しメダルを取れるように頑張りたい」と意気込みをみせた。

このほか、和歌山北高校2年の吉田隆起選手(レスリング)、貴志川高校3年の村田昂選手(ボクシング)、同高

3年の倉矢知明選手(アーチエリー)も訪れた。